

利用しやすい介護保険制度に改善を

訪問看護利用料の減免が実現

○三年七月から、これまでの訪問介護利用料の減免に続いて、訪問看護についても低所得者の利用料が三％に減免されました。

これは、老人医療費増大要因が「いよいよよくなってからの入院にあることが判明」その対策として早期対応が必要であるためです。

特別入浴が継続されました。

介護保険制度になって、これまでの「ねたきり」の人に対する特別入浴制度に対する市の補助がなくなると施設では廃止になるので、この問題を○四年十二月議会で質問。市は「貴重なサービスなので検討したい」と答弁し、継続をされることになりました。

施設利用者のホテルコストの徴収始る、○六年四月から大幅改悪に。安心して利用できる介護保険を求める

○五年十月から施設利用者の食事代や居住費(ホテルコスト)が自己負担になりました。

○六年四月からは、軽介護度の人からホームヘルパーが取り上げられてしまう危険があります。実情にあった対応を求めるとともに、利用料・保険料減免の継続を求めました。

○四年九月に党議員団は「自治体の意見を国に」と提案し、市長は、○四年十月に利用者負担増に反対と意見書を国に提出しました。



商工業・都市農業の振興は元気な街に必要

議員提案権を使って三鷹市産業振興条例の提案

党議員団は、選挙の時に公約した条例の制定をめざして03.9月議会で条例の議員提案を行いました。民主市民連合の会派が共同提案になり市民の党も加え12名が賛成したが、政新クラブ(自民党系)と公明党など15名が反対して否決となってしまいました。党議員が条例を作成して提案し、他の議員の質問を受け答弁をしました。

チェーン店の商店会加入、融資の改善など質問

04.12.議会で商工会や民主商工会から調査活動を行い、商工業振興のための質問をしました。05.8に三鷹商工会役員と党議員団の懇談会が行われ、『チェーン店等の商店会加入のために振興条例を』の要望が出されました。さらに05.9議会の代表質問で、この懇談でだされた商工・建設・サービス事業など振興課題を取り上げました。

三鷹農協との懇談、練馬体験農園の視察

04.10に三鷹農協を訪問し、都市農業の振興策、相続税の問題点や特産品づくりなど聞きました。

また、その前に練馬区の体験農園「石泉愛らんど」を視察しました。相続税対策とともに市民の農業参加をすすめる農園活動は大いに参考になりました。党議員団の05年度の予算要望書にも反映しました。



被爆者体験集発行に協力

被爆60周年の今年、三鷹市原爆被爆者の会によって被爆体験集「きのこ雲のきえる日」が発行されました。被爆者の会のみなさんの計画を支援しよう、と党議員団が04年9月議会で質問で取り上げました。市長から「記録を残す意向を聞いている。相談したい」と回答があり、05年度に助成金が特別に交付され、被爆者のみなさんの努力で発行されました。



原水爆禁止世界大会、核兵器廃絶署名活動にも参加

広島・長崎で毎年開催される原水禁世界大会に党議員団は代表を派遣しています。核兵器廃絶署名に参加、正月元旦に行われる八幡神社での三鷹原水協の署名活動にも参加しています。

9条を守る運動に全力

自民党は、アメリカと世界のどこでもいっしょに戦争ができる国にと憲法改悪草案を出しました。民主党も集団自衛権を容認する方向を示しました。基地再編もそれに沿う内容になっています。憲法改悪反対・9条を守る運動に全力で取り組んでいます。